

4. 整備の進め方

今後は、「3.地区整備計画」で示した具体的な事業内容に示した、「事業者（事業を行う主体）」、「目標年次（年度）」をもとに、事業を行うものが主体となり具体的な取組を進めていきます。

この取組の実施においては、個別に関係者（当事者となる高齢者や障害者等）や地元の皆さんの意見をお聞きするとともに、警察や交通事業者など関係機関との協議を行いながら進めていくことを基本とします。

（1） 各主体の役割に応じた街づくり

学芸大学駅周辺地区の街づくりは、住民・既存の組織等や事業者及び目黒区が、それぞれの役割のもと、互いに連携・協力しながら進めていくことが必要です。

住民・既存の組織等や事業者は、できるところから取組を進め、ルールづくりやまちづくり活動の拡大に努め、目黒区は、これらの取組を適切に支援します。

目黒区は、目黒区全体の財政状況を踏まえ、住民等との合意形成や東京都をはじめ関係機関等との調整・連携を図りながら段階的に事業を実施することを基本としますが、街づくりの方針に基づき、短期的に事業化が可能なものについては、時機を逸することなく取組を進めます。

なお、地域の実態に即したより良い街づくりを進めるためには、街づくり活動の維持・発展を図り、地域活動を活かした街づくりを進めることが重要であるとの認識のもと、目黒区は、町会・自治会及び住区住民会議を中心として積極的な支援を行います。

特に、町会・自治会や商店街・学校関係者等が構成メンバーである「学芸大学駅周辺地区懇談会（※）」において意見をお聞きしながら各種取組を進めるとともに、商店街が中心となった商店街の街づくり組織である「学芸大学街づくりの会（※）」など、地元組織が主体となって取り組む活動においては、積極的な活動支援を行うとともに、適宜課題等を共有しながら取組改善を図ります。

※学芸大学駅周辺地区懇談会

町会・自治会、住区住民会議、商店街、地域活動を行う方、地域住民、放置自転車協議会、学校関係者、福祉・障害者団体等代表者を構成メンバーとし、年2回程度、学芸大学駅周辺地区における街づくりに関する意見交換等を行っています。

※学芸大学街づくりの会

商店街や東急電鉄（株）を構成メンバーとし、学芸大学駅周辺の商店街の街づくりを主体的に考え、商品のはみだし抑制や押しちゃりなどの取組を主体的に行っています。

住民・既存の組織等、事業者、目黒区は、それぞれの役割に応じて、次のように街づくりを進めていきます。

区の役割・積極的な推進・支援

区は、住民等と連携・協力し、構想実現に向けた具体的な施策を策定するとともに実施する主体です。
具体的な事業の実施に向け、関係機関や事業者等との調整を図るとともに、具体的な事業を実施し、街づくりを積極的に推進します。特に、鉄道事業者へは、積極的な働き掛けを行い、街づくりへの参加・協力を促します。また、関係各課が連携し、住民・既存の組織等や事業者の取組に対する様々な支援や調整、啓発活動を進めます。

住民の役割・多様な参加、取組

住民は、地区の街づくりを推進する主体です。
自分たちの住む街の将来を考え、街づくりに積極的に取り組むことが必要です。
そのため、街づくりに関する理解を深め、身近な生活環境の改善や緑化の推進など、自らできることに取り組むとともに、区や各既存の組織などと協力して、街づくりに取り組みます。

事業者の役割・参加、協力

事業者は、住民と同様に街づくりを推進する主体です。
社会的な役割や専門的な知識を活用し、放置自転車対策や美しい街並みづくり、地区の活性化に向けた活動など、地区全体の街づくりに繋がる事業活動に自ら努めるとともに、区や住民・既存の組織などが実施する取組に参加・協力します。

既存の組織等の役割・積極的な参加、取組

既存の組織等は、住民と同様に街づくりを推進する主体です。特に、地域の街づくりにおいて中心的な役割を担うとともに、住民一人ひとりの活動を牽引していく役割を担う主体です。
地区全体の街づくりに関する活動を積極的に行うとともに、住民や事業者、区と連携・協力した取り組みを行います。

※既存の組織等

町会・自治会や住区住民会議、商店会（「学芸大学街づくりの会」含む）、PTA、自転車対策協議会、公園活動登録団体・グリーンクラブ、福祉等のNPOなど、既存の組織等の街づくり（取組）活動の活発化を図ります。

(2) 地区整備計画の進行管理

地区整備計画の進行管理は、PDCAサイクルに基づいて行うことを基本とします。

関連する事業の動きなどを見ながら、地区整備の進行状況、街づくりの機運の高まり、住民等の参加や取組状況、技術の進展等を加味して点検し、地区整備計画に関する施策が大きく変化した場合や補助 26 号線の完成により交通体系が大きく変化した場合などは、事業内容の見直しを検討し、必要に応じて見直します。